

認知症サポーター・キャラバン

# 鹿児島市 キャラバン・メイト 活動の手引き



令和6年1月1日改訂版

## 目 次

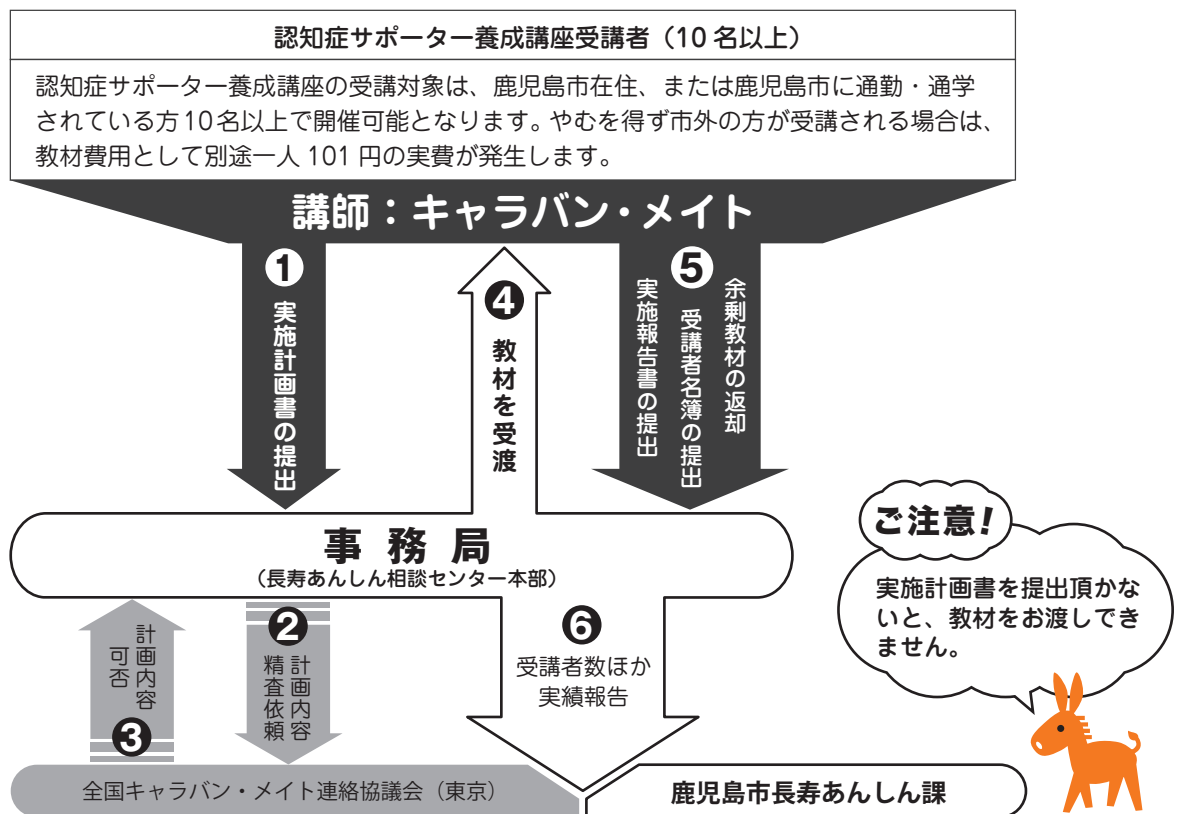
<b>1</b>	講座開催が決まったら事務局へ .....	P1
<b>2</b>	講座の種類 .....	P2
<b>3</b>	受講者への配付物 .....	P2
<b>4</b>	教材の貸出 .....	P2
<b>5-①</b>	実施計画書 .....	P3
<b>5-②</b>	実施報告書 .....	P4
<b>5-③</b>	受講者名簿について .....	P5
<b>6</b>	認知症サポーターステッカーの交付 .....	P5
<b>7</b>	受講対象者区分凡例一覧 .....	P6
<b>8</b>	認知症サポーター養成講座 基本カリキュラム.....	P7
<b>9</b>	各種書式の入手方法 .....	P8
<b>10</b>	事務局及び教材受取・余剰教材返却先 .....	P9

# 1 講座開催が決まったら事務局へ

## ◇ 認知症サポーター養成講座（自主講座）を行うには

鹿児島市の場合、事務局である鹿児島市長寿あんしん相談センター本部へ実施計画書を提出する事から始まります。

### 【認知症サポーター養成講座計画から報告までの流れ】



- 各種書式の入手と記載方法については P.3～P.8 頁を参照。
- 認知症サポーター養成講座で受講者に配付する標準教材（教科書）や認知症サポーターカードは、いつも在庫があるとは限りません。そのため、開催予定日の1ヶ月前までには計画書を提出してください。1ヶ月以内ですと、必要数お渡しできない場合があります。
- 教材は常に在庫があるわけではなく時間を要する事がありますので事務局からの連絡をお待ちください。

## 2 講座の種類

### ①キャラバン・メイトによる「自主開催講座」

自主開催講座は、キャラバン・メイトが企画・実施する認知症サポーター養成講座で、日時、会場等の設定、受講者の募集等をキャラバン・メイトが主体的に行います。また、所属している企業や団体、グループ内で実施する場合も自主開催講座となります。

### ②地域や学校、団体等からの申込による「出前講座」

出前講座の依頼があった際、キャラバン・メイトに派遣を依頼する講座です。

※ 注意点として、派遣されたキャラバン・メイトは申込団体や企業、学校などからいかなる場合も講師謝金や交通費等の謝礼、品物等の授受は厳禁となりますのでご注意ください。また、申込団体がキャラバン・メイトを指名することもできません。

## 3 受講者への配付物

標準教材（高校生以上）：全 30 頁



小学生用副読本：全 7 頁



中学生用副読本：全 15 頁



認知症サポーターカード

受講修了者には、『認知症サポーターカード』を配付します。配付の際は、下記にご注意下さい。



過去講座を受けた受講者から  
オレンジリングとの交換依頼があった

オレンジリングとカードの交換は行っていません。  
ただし、リングを紛失した受講者には受渡可能です。

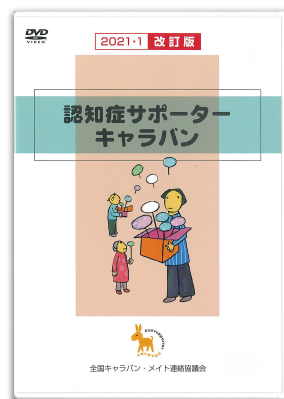
欠席等により受講出来なかった知人  
同僚等のカード（標準教材含む）を要求された

サポーターカードは養成講座を修了した証です。  
欠席、講義中の退席等された方には配付することができません。

## 4 教材の貸出

貸し出し用補助教材（DVD）

認知症サポーターキャラバンの解説 DVD を事務局から借りることができます。DVD の再生時間は 15 分です。基本カリキュラムの必須科目なので、DVD で視聴して頂くか、DVD 再生機器が無い会場では口頭にて説明をお願いしています。



## 5-① 実施計画書

様式2

### 鹿児島市 認知症サポーター養成講座実施計画書

実施予定日	令和 年 月 日 ( 曜日 )	提出日	令和 年 月 日
受講団体 名称	記入例：市立〇〇小学校 5 学年児童		受講 予定者数
受講対象者 区分	① -		

担当 キャラバン・メイト	キャラバン・メイトID	キャラバン・メイト氏名	電話番号
	例) 東 京	- 11 - 1111	サボ 太郎

講座の構成	内 容	③ 時間配分
	○ ④ 認知症サポーターキャラバンとは	～
○ 認知症を理解する(1)	～	( 分 )
○ 認知症を理解する(2)	～	( 分 )
○ 認知症サポーターとは	～	( 分 )
○ 認知症サポーターのできること	～	( 分 )
○ その他( )	～	( 分 )

使用教材 ※【】内に予定数もしくは図を記載してください。	1. 認知症サポーター養成講座標準教材(冊子)	【 冊】	5. 配布資料(独自)	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
	2. 小学生養成講座副読本 (小学生用冊子)	【 冊】	6. 認知症サポーターカード	【 枚】
3. 中学生養成講座副読本 (中学生用冊子)	【 冊】			
4. キャンペーンDVD	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし			

#### ＜キャラバン・メイトの自主開催による教材等の受渡しについて＞

受渡し方法	・長寿あんしん相談センター ( ) で受取り希望 ・都合により送付希望の方は下記フォームを記入		
送付先	【送付先名称】	【受取人氏名】	【送付先TEL】
	【送付先住所】 〒		
【注意事項】	1. 実施希望日の <b>30日前まで</b> にお申込みください。 2. 使用教材は記載してある数を受渡し致しますので、予定数を記載してください。 教材の種類やオレンジリング等について不明な場合は上記連絡先までご相談ください。 3. 鹿児島市認知症サポーター養成講座の受講対象者は、市内に住んでいる方、市内事業所や各種学校に通勤、通学している方となります。		

① 受講対象者区分は計画書に付属している別表または 6 ページの一覧を参照ください。

② 担当者キャラバン・メイト欄は参加キャラバン・メイト全員の ID と氏名を記入ください。副講師(助手)として参加しても実績がカウントされます。(ID はご自分のキャラバン・メイト養成研修修了証に記載)

③ 講座の構成は 7 ページの「基本カリキュラム」を参照して記入ください。全体の講座時間は基本 90 分ですが、小・中学校など 45～50 分の授業時間内は承認されます。ただし、あいご会や子供会、児童クラブ等授業以外の場合、講座時間は基本 90 分となります。  
(子供の集中力維持に鑑み 90 分が難しいと思われる場合は、事務局に相談ください)

④ 大人向けの場合、基本カリキュラムの「認知症サポーターキャラバンとは」の項は所要時間 15 分です。貸出される DVD を使用すれば大丈夫ですが、機材が無い会場では口頭で説明する必要があります。時間はやはり 15 分です。

⑤ 使用教材数は、人数が確定しない場合は多めに記入ください。**余剰の教材及び認知症サポーターカードは、講座修了後必ず返却願います。**また、独自資料を配付する方は、**標準教材も配付する**ようお願いします。



## 5-② 実施報告書

様式3

### 鹿児島市 認知症サポーター養成講座実施報告書

実施日	令和 年 月 日 ( 曜日 )	提出日	令和 年 月 日
受講団体 名称	市立〇〇小学校 5学年児童		最終 受講者数
受講対象者 区分	-		

担当 キャラバン・メイト	キャラバン・メイトID	キャラバン・メイト氏名	電話番号
	例) 東京 - 11 - 1111	サポ 太郎	090-△△△△-□□□□

受講者の年代 内訳	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
男性			6				
女性							
合計							

使用教材 ※【】内に配布数も しくはを記載して ください。	1. 認知症サポーター養成講座標準教材(冊子) 【 冊 ]	5. 配布資料(独自) <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
	2. 小学生養成講座副読本 (小学生用冊子) 【 冊 ]	6. 認知症サポーターカード 【 枚 ]
3. 中学生養成講座副読本 (中学生用冊子) 【 冊 ]		
4. キャンペーンDVD <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし		

認知症サポーターステッ カー希望の有無	希望事業所等 <input type="checkbox"/> あり ( )箇所 <input type="checkbox"/> なし
------------------------	--

《講座を開催しての感想・提案等》

8

### 《実施報告書記入の注意点》

・キャラバン・メイトの方は    の中のみ記入します。

⑥ サポーターの年代・性別内訳は必須です。受講者名簿と照らし合わせ記入ください。受講者名簿は実施報告書と一緒に事務局へ提出願います。

⑦ 使用教材数は正確に記入ください。受講者数と使用教材数が違う場合は理由を事務局にお知らせ頂くか、感想・提案等の欄に記入ください。

⑧ 講座を開催しての感想・提案等の欄は講座を開催しての感想や、受講者の反応・要望、アンケートの内容などを記入ください。こちらは任意ですので空欄でも大丈夫です。

・実施報告書は講座を開催した月末までに事務局へ提出ください。



## 5-③ 受講者名簿について

受講者名簿は講座終了後、実施報告書と一緒に事務局へ提出頂く**必須書類**です。

氏名・年齢（年代）・性別は必ず明記するようにお願いします。

住所欄は、企業や各種学校などの場合は個人の住所を書く必要はありません。企業や学校の所在地で統一ください。電話番号欄は任意です。

個人情報の取扱等により氏名を書くことを拒否する方がいますが、その場合は氏名欄に「記入拒否」と記載して、性別と年齢（年代）だけ記入するよう協力をお願いしてください。住所の記入を拒否された場合は町名のみでも書いて頂くように協力をお願いしてください。

様式5

枚目

### 認知症サポーター養成講座受講者名簿

実施日： 年 月 日

受講団体名：

	氏 名	性別	年代 (例：50代)	住 所	電話番号
1		男・女	代	鹿児島市	
2		男・女	代	鹿児島市	
3		男・女	代	鹿児島市	
4		男・女	代	鹿児島市	
5		男・女	代	鹿児島市	
6		男・女	代	鹿児島市	
7		男・女	代	鹿児島市	
8		男・女	代	鹿児島市	
9		男・女	代	鹿児島市	
10		男・女	代	鹿児島市	
11		男・女	代	鹿児島市	
12		男・女	代	鹿児島市	
13		男・女	代	鹿児島市	
14		男・女	代	鹿児島市	
15		男・女	代	鹿児島市	
16		男・女	代	鹿児島市	
17		男・女	代	鹿児島市	
18		男・女	代	鹿児島市	
19		男・女	代	鹿児島市	
20		男・女	代	鹿児島市	

※平成27年1月27日付け「認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)」において、認知症サポーター養成講座を修了した者の把握を求められていることから、鹿児島市長寿あんしん課で認知症サポーター養成講座受講者名簿を管理し、使用目的以外には使用しません。

## 6 認知症サポーターステッカーの交付（無料）希望があった場合

企業や商店、各種学校等の場合、認知症サポーター養成講座受講者が在籍していれば、その証として建物の内外に掲示できる認知症サポーターステッカーの申請ができます。

発行の希望や質問等がある場合は、事務局へ問い合わせするように説明するか、長寿あんしん相談センターホームページから申請書をダウンロードするように説明してください。

あらかじめ、申請書が用意されている場合は、講座終了後に預かって頂き、報告書等と一緒に事務局へ提出ください。後日、事務局から申請者へ郵送します。



※仕様は A4 サイズでラミネートされています。  
裏は糊面加工されていません。

※交付は無料です。申請枚数は 2 枚まで。



# 7 受講対象者区分一覧

様式2

(参考)

				受講対象者
1. 住民	1	-	0 1	民生委員児童委員、保健推進員、食生活改善推進員 等
	1	-	0 2	防災・防犯組織(住民パトロール隊、徘徊SOSネットワーク等)
	1	-	0 3	老人クラブ、高齢者サロン、老人会 等
	1	-	0 4	自治会、町内会、集合住宅管理組合 等
	1	-	0 5	各種ボランティア組織
	1	-	0 6	介護者のグループ
	1	-	0 7	各種生涯学習、趣味の会 等
	1	-	0 8	その他一般住民ほか ※あいご会・子供会・児童クラブ含む
2. 企業・職域	2	-	0 1	警察
	2	-	0 2	消防
	2	-	0 3	電力会社
	2	-	0 4	ガス会社
	2	-	0 5	金融機関
	2	-	0 6	郵便局
	2	-	0 7	保険会社
	2	-	0 8	交通機関(鉄道、バス、モノレール等)
	2	-	0 9	タクシー
	2	-	1 0	スーパー、百貨店、コンビニエンスストア 等
	2	-	1 1	マンション管理
	2	-	1 2	理容室
	2	-	1 3	ホテル、宿泊施設
	2	-	1 4	自動車学校、教習所
	2	-	1 5	警備会社
	2	-	1 6	医師会、歯科医師会 等
	2	-	1 7	薬局、薬剤師会
	2	-	1 8	司法書士、リーガルサポートセンター 等
	2	-	1 9	商工会、商店会
	2	-	2 0	その他
3. 学校	3	-	0 1	幼稚園、保育園
	3	-	0 2	小学校
	3	-	0 3	中学校
	3	-	0 4	高校
	3	-	0 5	大学
	3	-	0 6	その他専門学校等
	3	-	0 7	教職員
4. 行政	4	-	0 0	行政
5. 介護サービス	5	-	0 1	居宅サービス職員
	5	-	0 2	施設・居宅系サービス職員
	5	-	0 3	その他

## 8 認知症サポーター養成講座 基本カリキュラム

基本となる内容	標準時間
●認知症サポーターキャラバンとは	15分
<b>●認知症を理解する（1）</b> 1 認知症とはどういうものか 2 認知症の症状 3 中核症状 症状1 記憶障害 症状2 見当識障害 症状3 理解・判断力の障害 症状4 実行機能障害 症状5 感情表現の変化 4 行動・心理症状（BPSD）とその支援 元気がなくなり、引っ込み思案になることがある 身のまわりのことに支障が起こってくる 周辺の人が疲弊する精神症状 行動障害への理解	30分
<b>●認知症を理解する（2）</b> 5 認知症の診断・治療 早期診断、早期治療が大事なわけ 認知症の治療 認知症の経過と専門家との関係 成年後見制度／地域福祉権利擁護事業 6 認知症の予防についての考え方 7 認知症の人と接するときの心がまえ 8 認知症介護をしている人の気持ちを理解する	30分
<b>●認知症サポーターとは</b> <b>●認知症サポーターのできること</b>	15分

（計 90 分）

## 9 各種書式の入手方法

### ◇ ホームページからのダウンロード方法（令和6年1月現在の画像です）

#### ① トップページ（www.kg-shien.org）



#### ② キャラバン・メイト入口をクリック



#### ③ 各種報告書ひな型や基本カリキュラムがあります



#### このページからダウンロードできる書式

- ① 『キャラバン・メイト活動の手引き』（本書）
- ② 認知症サポーター養成講座基本カリキュラム（重要）
- ③ 実施計画書及び実施報告書（重要：使用頻度多）
- ④ 受講者名簿ひな形（重要：使用頻度多）
- ⑤ 認知症サポーターステッカー交付申請書

#### 【各種ツール】

- ① 養成講座開催勧誘チラシ（一般向け・小学校向け）
- ② 紙芝居『おじいちゃんどうしちゃったの』（PDF）
- ③ 鹿児島市の町別人口(PDF) ※年3回(1・4・10月)更新

#### 【各種変更届け】

- ① キャラバン・メイト情報変更依頼書（全国版）
- ② キャラバン・メイト登録削除届（全国版）

### ◇ その他入手方法

上記書式はFAX やメールでも受け取ることができます。形式は紙ベース、エクセルデータ、PDF データでの受渡となります。ご希望の方は、長寿あんしん相談センター本部業務課までお問合せください。



# 10 事務局及び教材受取・余剰教材返却先（各長寿あんしん相談センター）

## 【事務局】

鹿児島市長寿あんしん相談センター本部 業務課

所在地：〒890-0062 鹿児島市与次郎1丁目10番6号  
（高齢者福祉センター与次郎1階）

電話：099-813-1040 FAX：099-813-1041

メール：sapo@kg-shien.org

ホームページ：www.kg-shien.org



## 【教材受取センター】 ※各センターは教材等の受取・引受のみです。問い合わせ等は事務局へ連絡ください

<b>郡山</b> 郡山地区保健センター1階 	<b>吉田</b> 吉田福祉センター2階 	<b>吉野</b> せいば山公園となり 	<b>緑ヶ丘</b> 緑ヶ丘団地北バス停近く 	<b>西伊敷</b> 伊敷団地中央公園となり 
<b>伊敷台</b> 伊敷ニュータウン中央バス停近く 	<b>上町</b> 柳町バス停近く 	<b>城西</b> 鶴丸高校前バス停近く 	<b>桜島</b> 桜島地区保健センター内 	<b>松元</b> 松元支所3階 
<b>武田上</b> 天神寺之下バス停近く 	<b>武岡</b> 武岡福祉館近く 	<b>中央</b> 城南保育園近く 	<b>鴨池北</b> 中央保健センター2階 	<b>鴨池南</b> 南小前バス停近く 
<b>谷山北</b> 入来バス停近く 	<b>星ヶ峯</b> 中央町内会公民館前 	<b>谷山中央</b> 谷山市民会館近く 	<b>谷山南</b> 坂之上配水池前 	<b>喜入</b> 喜入支所2階 

※事情により教材を受取に行けない方は、発送もしますのでご相談ください